

学校法人中部大学 行動計画

学校法人中部大学は「次世代育成支援対策推進法」に基づき、教職員一人ひとりが主役となって、やりがいや働きがいをもてる環境を実現するため「ワーク・ライフ・バランス」の推進に積極的に取り組み、全ての教職員がその能力を十分に発揮できるようにするとともに、本学が保有する知的・物的資源を広く提供することにより、社会の発展に貢献するため、次のような行動計画を策定する。

1. 計画期間 2025年4月1日から2029年3月31日までの4年間

2. 内容

a. 安心して働ける場、多様性と包摂性に配慮した環境整備・人材活用

目標1 安心、働きがい、生きがいのある職場づくり。

- (1) 頑張った者が報われる制度の構築。
- (2) 非正規職員から正規職員への積極的登用
目標値：登用者 期間中の年平均3名以上。
- (3) 障がい者の積極的雇用
・障がいのある本学学生（卒業見込み者）を積極的に採用。
- (4) 育児・介護をはじめ、教職員による各種相談窓口の整備充実

<対策>

教職員のニーズや世間動向を見つつ、既存の制度や取り組みの活性化および魅力ある制度を策定する。

b. 仕事時間と生活時間のバランスの実現

目標2 ワーク・ライフ・バランスの視点から、家庭と仕事の両立を目指す。

- (1) 育児・介護離職者ゼロおよび男性教職員の育児休業取得率40%以上を目指す。
- (2) 業務の簡素化・効率化の促進と時間外勤務削減意識の啓発に努める。
・各種事務手続き等のデジタル化、ペーパーレス化を促進。
・DXによる業務改善・効率化を促進。
・1人当たりの年間残業時間を5%削減する。(2024年度比)
- (3) 年次有給休暇を取得しやすい労働環境の推進。

<対策>

- (1) (3) 管理職の意識改革を皮切りに、全教職員が互いに理解し合える風土づくりを進める。
- (2) 誰もが提案しやすい環境づくり、成功事例を共有できる環境づくりを行うとともに、研修の充実・機会の増加を図る。

c. U S R（大学の社会的責任の遂行）

目標3 教育機関として公的な責務を認識し、教育の質的向上を目指す。

- (1) 学生、保護者および社会に対して説明責任を果たすため、教育研究情報を公表する。
- (2) 地域の住民、子ども達との連携を図るプロジェクト、科学技術、国際交流の楽しさを伝えるプロジェクトを実施する。
- (3) 地域住民の文化活動へ貢献する。

<対策>

マスメディア、ホームページ、SNS、地域情報誌などを活用し、積極的に周知する。

以上